

経営者インタビュー⑨

～人材育成、職業訓練等に関する”ホンネ”を聞く～

このコーナーでは、多摩地域の中小企業の経営者の方々に人材確保・人材育成などについてインタビューした内容の一部を紹介します。

第9回目となる今回は、株式会社 上杉電機工業 代表取締役で、武蔵野電気工事工業協同組合 理事長の上杉 克 氏に登場いただきました。

株式会社 上杉電機工業
所在地：東京都三鷹市下連雀1-14-6
創業：昭和26年
事業内容：電気・空調・環境対応
・消防設備工事等、
各種電気工事
従業員数：18名
会社HP：<https://uesugi-dk.com/>



Q1 採用に当たっては、どのような点を重視していますか。

面接での第一印象を大事にしています。外れたことはないです。こちらをどれだけ理解しているか、また、しっかりした考えを持っているかどうか、じっくり話をして見極めます。

Q2 就職する時のミスマッチを防ぐにはどうしたらよいとお考えですか。

インターンシップを大々的にやった方がいいと思います。貴センターの職業訓練の中でも、一部の科目で2、3日間のインターンシップを取り入れているようですが、短いと見学とあまり変わらなくなってしまうので、最低1週間くらいの体験の積み上げが必要だと思います。職業訓練は現場に近い環境を作っていますが、現場は生き物で、机上や訓練だけではなかなかわからないこともあります。是非全科目の全員に実施してほしいです。

Q3 採用後の職場定着のために、どのような工夫をされていますか。

最初は、何を置いても、会社の雰囲気慣れるように、皆と仲良くなれるようにと思っています。入って3か月くらいは、私が仕事に直接関係ない話をたくさんしてコミュニケーションを取ることを第一にしています。その後、協同組合の方で実施している東京都認定の訓練に通って、電気工事士の試験対策をしながら、本格的に学んでもらいます。

Q4 上杉社長は、長年、協同組合で実施している東京都認定の職業訓練に貢献されてきたことで、今年度、東京都産業労働局長感謝状を授与されています。どのような訓練をされていますか。

父親の時代に作った協同組合で、資格試験対策講習として始めたものを、電気工事組合としては都内で初めて東京都の認定を受けて、今日に至っています。電気工事士の特に実技試験対策は、集合型の訓練として学んだ方が効率的です。実際、受講者の80%以上が合格しています。ただ、受講対象となる加盟各社の新入社員が人手不足で減少していて、受講者も減少しているので、なんとか増やしたいと思っています。

※認定職業訓練

事業主・事業主団体等が従業員に対して行う職業訓練のうち、職業能力開発促進法の基準に適合するものは、申請して認定を受けられ、要件を満たす場合、補助金等を受けることができます。

Q5 今後の電気業界についてどのようにお考えですか。

電気は生活に必要不可欠なもので、それは変わることはありません。また、これまでも、LED、太陽光発電、蓄電池など、次々に新しいものが登場して対応してきましたが、これからはますます変化の激しい時代になっていくでしょう。社員にもそういう動きについて行ってほしいと思い、積極的な情報提供に努めています。

上杉社長、ありがとうございました！